

## 1 消防訓練実施状況

平成15年度

消防訓練		
延べ訓練回数		延べ参加人数
51 回		5048 人
消防訓練実施内訳		
消火訓練	避難訓練	通報訓練
35 回	39 回	21 回

\* 届出のあったもの

## 2 消防法令及び火災予防条例等に基づく届出件数

平成15年度

項 目	件 数
防火対象物使用開始	49
消防用設備等着工	35
消防用設備等設置	91
消防用設備等点検報告	167
防火管理者選(解)任	51
消防計画(変更含む)	50
催物開催	2
火災とまぎらわしい届出	122
煙火打ち上げ	5
発電設備	2
畜電設備	2
変電設備	4
消防訓練実施計画(結果)届出書	56
水圧式シャッター開錠装置設置届	3
消防用設備等の特例基準適用申請	19
確認申請	79
消防同意	80
その他届出件数	21

3 防火対象物調（延べ面積 150㎡以上）

平成 15年度

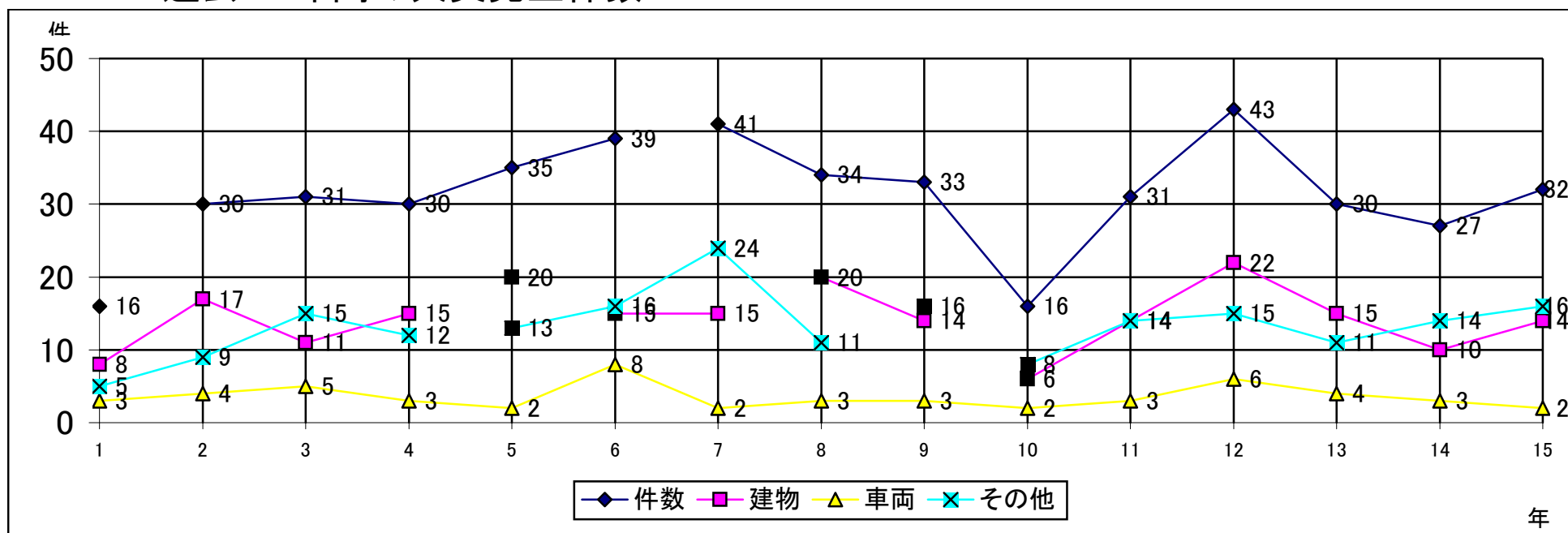
用 途		対象物数	地上5階以上
1	イ	劇 場、映画館、演芸場、観覧場	
	ロ	公 会 堂、集 会 場	19
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場、ダンスホール	7
3	イ	待 合、料理店等	4
	ロ	飲 食 店	29
4	百貨店、店 舗、マーケット等		69
5	イ	旅 館、ホテル、宿泊所	5
	ロ	寄宿舍、下 宿、共同住宅	575
6	イ	病 院、診療所、助産所	39
	ロ	福 祉及び厚生施設等	16
	ハ	幼稚園、養護学校等	12
7	小、中、高等学校、各種学校		53
8	図書館、博物館、美術館		2
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	
10	車 両 の 停 車 場 等		1
11	神 社、寺 院、教 会		13
12	イ	工 場、作業場	186
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫、駐車場	12
	ロ	飛行機の格納庫	
14	倉 庫		104
15	前各項に該当しない事業場		115
16	イ	特定対象物の複合用途建物	118
	ロ	イ以外の複合用途建物	46
合 計		1,425	36

## 4 防火対象物の立入検査実施状況調（延べ面積 150㎡以上）

平成 15年度

用 途		対象物数	立入検査実施件数
1	イ	劇 場、映画館、演芸場、観覧場	
	ロ	公 会 堂、集 会 場	19
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場、ダンスホール	7
3	イ	待 合、料理店等	4
	ロ	飲 食 店	29
4	百貨店、店 舗、マーケット等		69
5	イ	旅 館、ホテル、宿泊所	5
	ロ	寄宿舍、下 宿、共同住宅	575
6	イ	病 院、診療所、助産所	39
	ロ	福 祉及び厚生施設等	16
	ハ	幼稚園、養護学校等	12
7	小、中、高等学校、各種学校		53
8	図書館、博物館、美術館		2
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	
10	車 両 の 停 車 場 等		1
11	神 社、寺 院、教 会		13
12	イ	工 場、作業場	186
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫、駐車場	12
	ロ	飛行機の格納庫	
14	倉 庫		104
15	前各項に該当しない事業場		115
16	イ	特定対象物の複合用途建物	118
	ロ	イ以外の複合用途建物	46
合 計		1,425	114

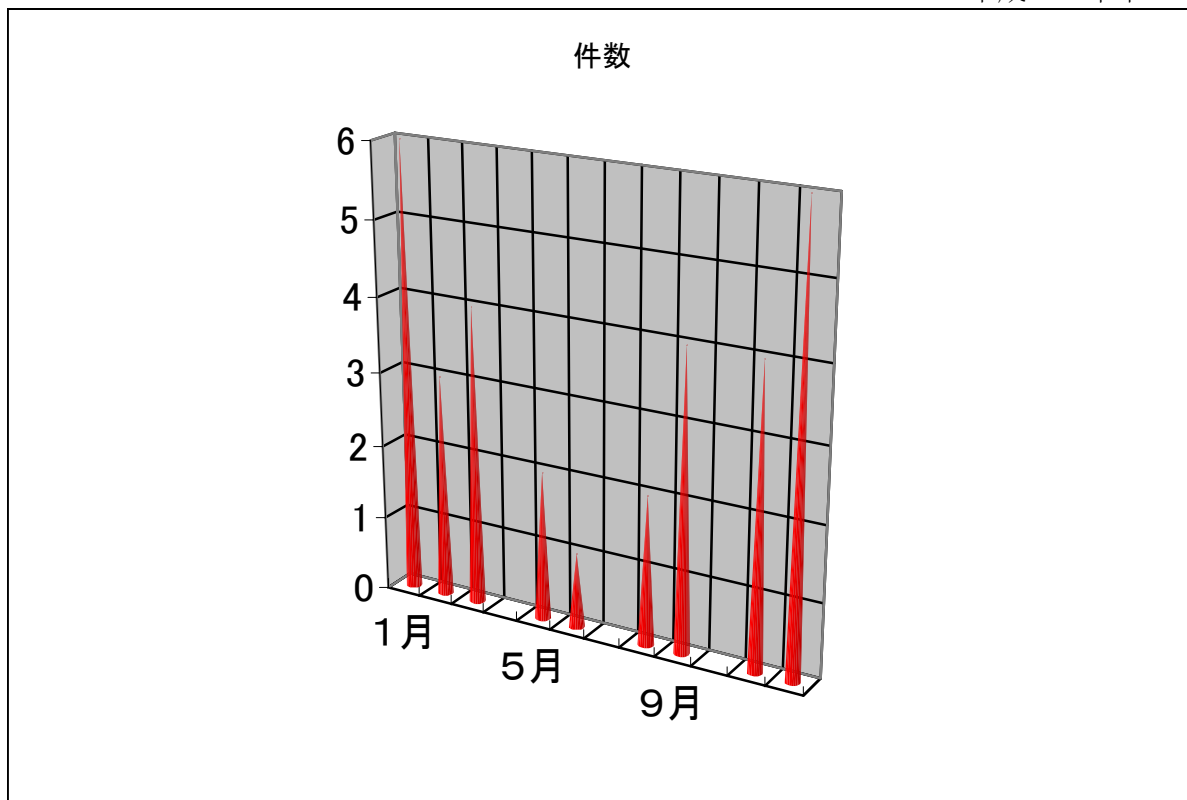
## 5 過去15年間の火災発生件数



年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
件数	16	30	31	30	35	39	41	34	33	16	31	43	30	27	32
建物	8	17	11	15	20	15	15	20	14	6	14	22	15	10	14
車両	3	4	5	3	2	8	2	3	3	2	3	6	4	3	2
その他	5	9	15	12	13	16	24	11	16	8	14	15	11	14	16
損害額 (千円)	9,701	251,729	17,649	20,461	194,155	161,774	158,925	65,958	40,399	115,647	22,604	59,350	149,807	6,131	52,457

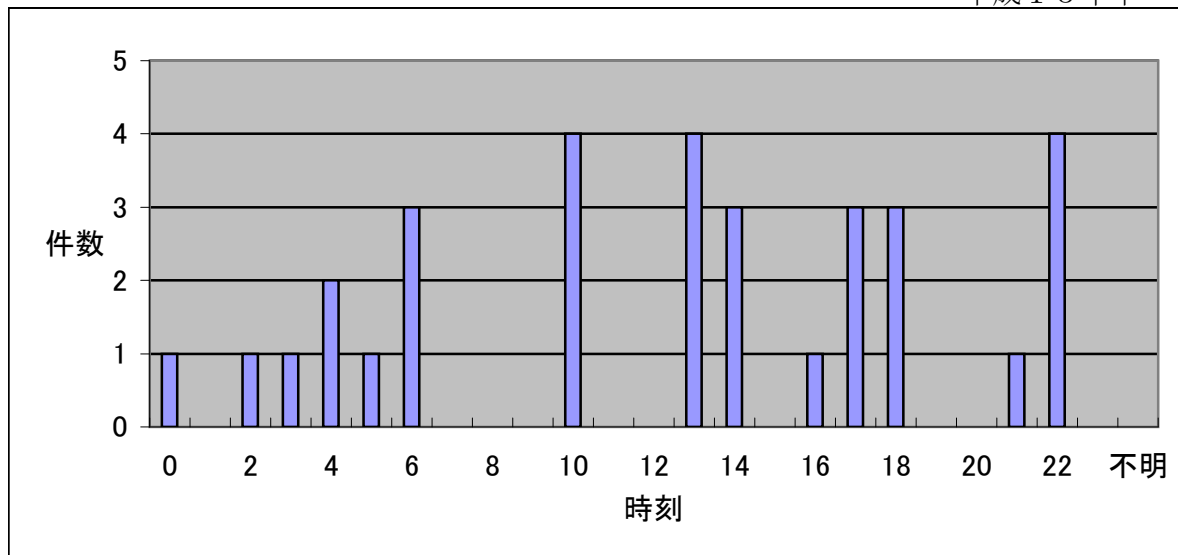
## 6 月別火災発生件数

平成15年中



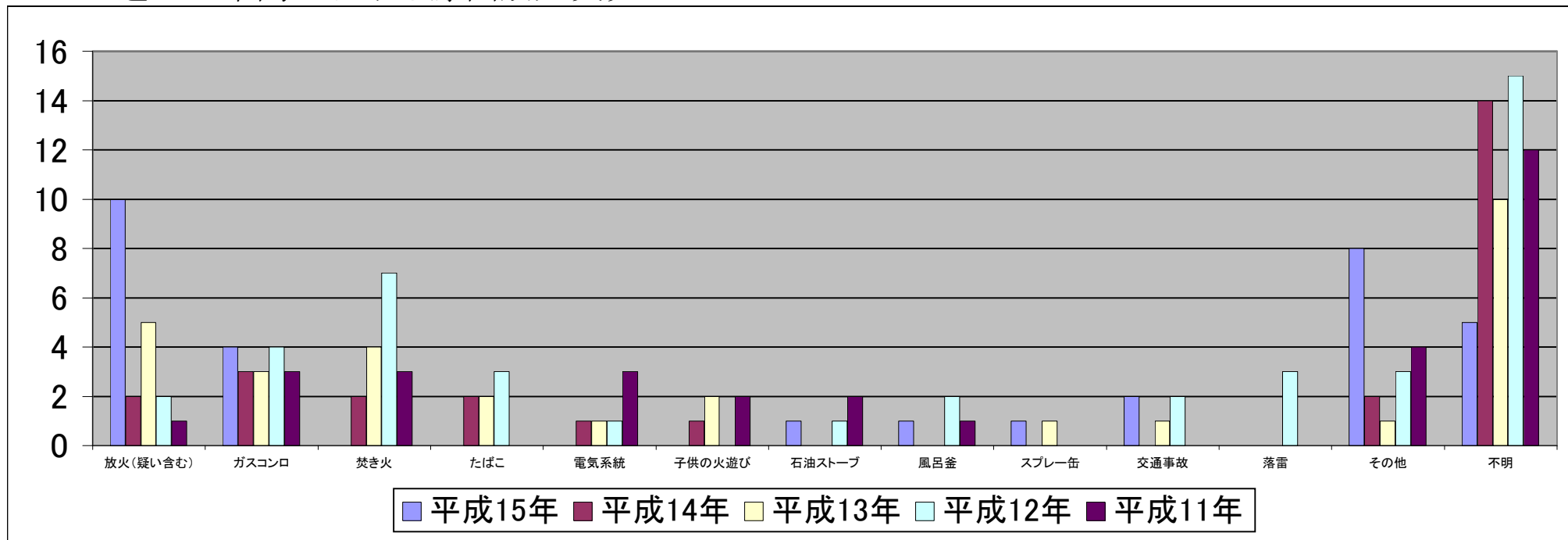
## 7 時間別火災発生件数

平成15年中



時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
件数	1	0	1	1	2	1	3	0	0	0	4	0	0	4	3	0	1	3	3	0	0	1	4	0	0

## 8 過去5年間に於ける原因別火災発生



原因別 過去5年間	放火(疑い含む)	ガスコンロ	焚き火	たばこ	電気系統	子供の火遊び	石油ストーブ	風呂釜	スプレー缶	交通事故	落雷	その他	不明
平成15年	10	4					1	1	1	2		8	5
平成14年	2	3	2	2	1	1						2	14
平成13年	5	3	4	2	1	2			1	1		1	10
平成12年	2	4	7	3	1		1	2		2	3	3	15
平成11年	1	3	3		3	2	2	1				4	12
合計	17	10	6	4	2	3	4	4	2	3	0	11	29

# 平成15年中の蓮田市火災概況

※※蓮田市消防本部※※

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災発生件数		6	3	4		2	1		2	4		4	6	32
種別	建物火災	3	1	2			1		1	3		2	1	14
	車両火災								1				1	2
	その他火災	3	2	2		2				1		2	4	16
原因別	ガスコンロ			1			1			1			1	4
	枯草等の焼却 野焼き等の延焼	1												1
	石油ストーブ											1		1
	焚き火													0
	電気関係													0
	交通事故	1		1										2
	電灯電話等の配線	1												1
	放火(疑い含む)	1				1			1	2		2	3	10
	その他	1	1	1					1	1		1	2	8
	不明	1	2	1		1								5
負傷者				2						1			2	5
死者			1										1	2
焼損表面積(m <sup>2</sup> )		13	9	1						8		0.08		31.08
焼損床面積(m <sup>2</sup> )		258.33	76.64						4	20				358.97
焼損棟数		7	2	2			1		1	3		2	1	19
火元焼損区分	全焼	2	1											3
	半焼													0
	部分焼	1							1	2				4
	ぼや			2			1					2	1	6
延焼による棟数		4	1							1				6
罹災世帯		6	2	2			1			4		1		16
罹災人員		16	3	5			3			10		3		40
損害額	建物(千円)	32,620	5,883						293	2,308				41,104
	内容物(千円)	5,766		101					870	77			136	6,950
	その他(千円)	3,105								77		366	855	4,403
	合計(千円)	41,491	5,883	101					1,163	2,462		366	991	52,457

平成12年中の火災件数 43件 損害額 59,350 千円

平成13年中の火災件数 30件 損害額 149,807 千円

平成14年中の火災件数 27件 損害額 6,131 千円

# 平成15年中 救助出動件数及び救助人員

蓮田市消防本部

種別		救助出動件数									程度	救助人員内訳						
		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故		合計(件/名)	性別	死亡	重症	中等症	軽症	救出後搬送拒否(負傷無し)
1月	出動件数		3				1			1	5	男		1		1		3
	救助人員		2				1			3	女							
2月	出動件数											男						
	救助人員											女						
3月	出動件数		1							1		男			1			1
	救助人員		1							1		女						
4月	出動件数		1	1		1	1			4		男						
	救助人員						1			1		女				1		1
5月	出動件数		2						1	3		男		1				1
	救助人員		1						1	2		女				1		1
6月	出動件数		2							2		男			1			1
	救助人員		2							2		女			1			1
7月	出動件数		3						1	4		男		1	3	1		5
	救助人員		9						1	10		女			1	4		5
8月	出動件数		1							1		男						
	救助人員		1							1		女				1		1
9月	出動件数								1	1		男						
	救助人員											女						
10月	出動件数		1							1		男	1					1
	救助人員		1							1		女						
11月	出動件数		3							3		男			1	1		2
	救助人員		2							2		女						
12月	出動件数		1				1			2		男			1			1
	救助人員		1				1			2		女				1		1
総出動件数(件)		.	18	1		1	3			4	27	合計(男)	1	3	7	3	1	15
												合計(女)			2	6	2	10
総救助人員(名)			20	0			3			2	25	総合計(名)	1	3	9	9	3	25

(注意: 火災出動にあつては、埼玉県に報告した出動件数のみとする。)



(平成 15 年中)

# 救急の概要

救急業務	(1)
10 年間の救急出場件数及び人口推移	(2)
平成 15 年中救急出場件数及び搬送件数	(3)
前年比較	(4)
高齢者搬送割合の増加	(5)
年齢別人口	(6)
時間別救急出場件数	(7)
時間別搬送人員	(8)
曜日別月別救急出場件数	(9)
曜日別月別搬送人員	(10)
事故種別・年齢別・程度別搬送状況	(11)
発生場所別搬送人員状況	(12)
管内管外搬送人員状況	(13)
現場到着所要時間別出場件数状況	(14)
応急手当普及啓発活動の状況	(15)

### (1) 救急業務

蓮田市の平成 15 年中の救急出場件数は、1949 件、搬送人員にあつては 1826 人で、1 日平均約 5.3 回の割合で救急車が出場、市民の約 35 人に 1 人が救急車を利用していることとなります。

救急自動車による搬送人員のうち最も多い事故種別は、「急病」で、全搬送人員に占める割合は、56.9% となります。次に「交通」で 19.1%、そして、「一般負傷」の 11% が続き上位の 3 種別で 87.1% を占めます。

急速な高齢化社会の到来と都市化への進展に伴う人口増加、また、疾病構造の変化等から、救急出場は、今後、ますます増加するものと予測されています。今日の救急業務は、市民の生命、身体を守る上で不可欠な行政サービス、消防行政の大きな柱として市民生活に深く定着してまいりました。

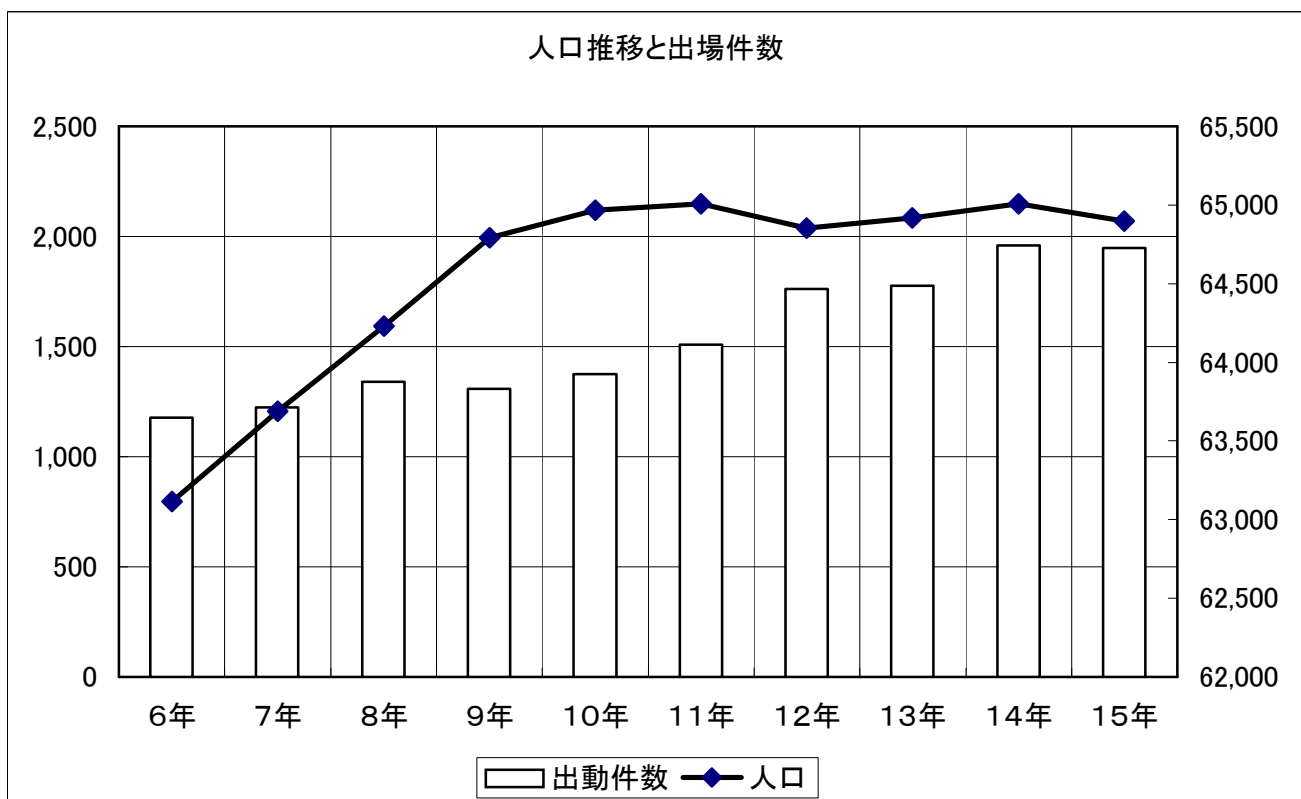
これからも、市民の救命効果の向上を図るために、高規格救急自動車、高度応急処置資器材等の装備を充実し、高度化の推進を図ること。また、市民に対する応急手当の必要性、重要性の普及啓発等を、総合的に実施することが必要であると考えられます。

現在、蓮田市内には、2 台の高規格救急車と標準型救急車 1 台が、急病やけがをした人を病院へ搬送するために配備されていますが、近年の救急出場の増加により、救急車が不足してしまうおそれがあります。

救急車は、急いで病院へ搬送しなければならない場合や、病院へ搬送する手段がない場合に活用するよう定められています。

みなさん、正しい救急車の利用を心がけてください。

### (2) 10 年間の救急出場件数及び人口推移



(3) 平成15年中救急出場件数及び搬送人員

種別 月別	救 急 事 故 種											合 計	
	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他		
1月	出動件数	2		25			16	2	8	125	16	194	
	搬送件数			27			14	2	4	116	16	179	
2月	出動件数	1		12		1	15		3	89	16	137	
	搬送件数			11		1	14		3	82	15	126	
3月	出動件数	1		34	3		17		1	85	15	156	
	搬送件数	2		35	3		16		1	77	14	148	
4月	出動件数			1	28	2	1	22	1	5	88	13	161
	搬送件数			1	29	2	1	20	1	2	80	12	148
5月	出動件数				32	2	2	24	1	6	63	16	146
	搬送件数				36	2	2	23	1	5	53	15	137
6月	出動件数	1			22	1	1	13			78	10	126
	搬送件数				21	1	1	12			74	10	119
7月	出動件数				30			17	4	3	96	9	159
	搬送件数				32			15	4	1	85	8	145
8月	出動件数				23	1		22	2	4	91	18	161
	搬送件数				21	1		21	2	1	83	18	147
9月	出動件数	2			30	4	2	11	1	4	99	10	163
	搬送件数				31	3	2	9	1	4	94	9	153
10月	出動件数				25	1	4	17			109	18	174
	搬送件数				27	1	4	17			105	18	172
11月	出動件数	1			35		2	18	3	2	98	12	171
	搬送件数				37		2	18	3	1	90	11	162
12月	出動件数	1			42			25		3	108	22	201
	搬送件数	1			43			23		2	100	21	190
合計	出動件数	9	0	1	338	14	13	217	14	39	1129	175	1949
	搬送件数	3	0	1	350	13	13	202	14	24	1039	167	1826

(4) 前年比較

区 分	平成15年中	平成14年中	対前年比	
	A	B	増減数 A - B = C	増減率 C ÷ B = D
出場件数	1949 件	1959 件	-10	-0.51%
搬送人員	1826 人	1885 人	-59	-3.12%
1日平均出動件数	5.33 件	5.36 件	-0.03	-0.55%
救急車利用率	35 人に一人	34 人に一人	1	2.94%
人口一人当たりの 出動件数	300 件	301 件	-1	-0.33%

(5) 高齢者搬送割合の増加

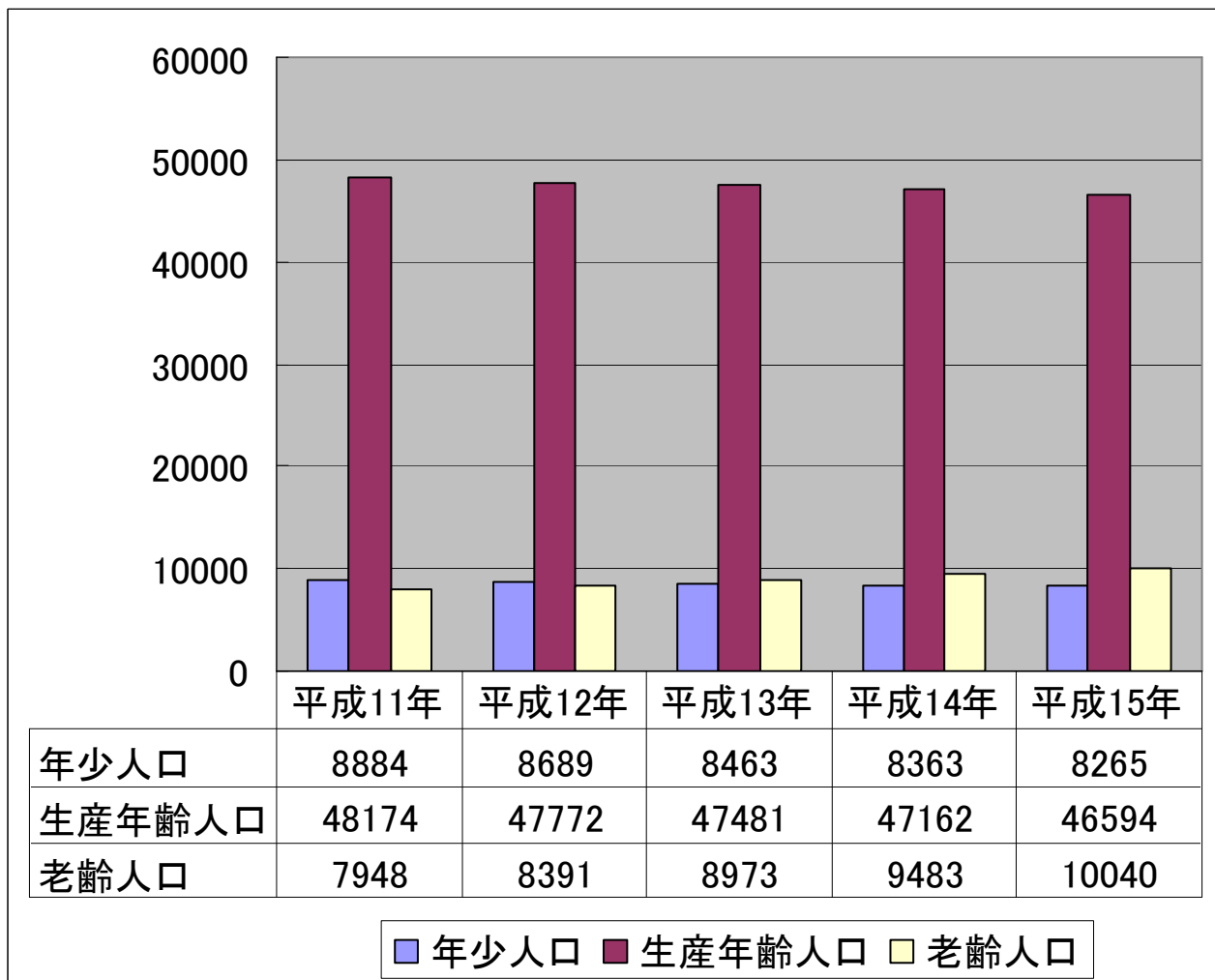
救急自動車による搬送人員のうち 65 歳以上の高齢者が占める割合は、年々増え続けており、平成 15 年中は、673 人で、36.8%となりました。

また、事故種別搬送人員が最も多かったのは「急病」であり、この「急病」による搬送人員のうち、65 歳以上の高齢者の割合は 45.9%を占めました。

本市の 65 歳以上の高齢者人口は、平成 15 年 4 月現在で 10,040 人。平成 11 年同月 (7,948 人) と比べると約 26.3%と増加しています。

高齢者 (65 歳以上) の比率では、平成 11 年の 12.2%から平成 15 年は、15.4%と急速に増加し、本県の推計による 2003 年度高齢者比率の 14.7%より、高い割合を示しています。

(6) 年齢別人口(平成 11 年から平成 15 年までの 5 年間)



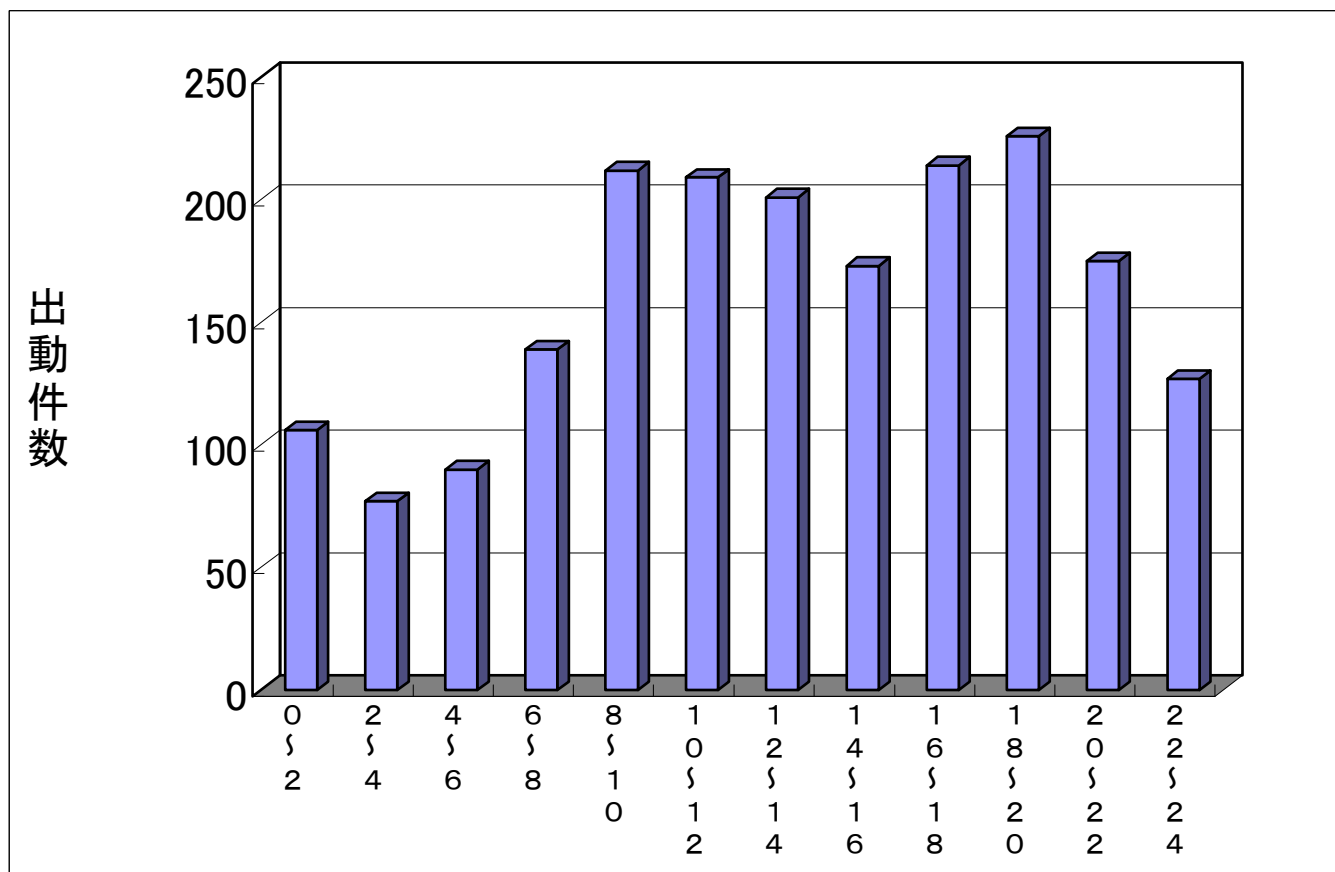
年少人口 (0 ~ 14)

生産年齢人口 (15 ~ 64)

老齢人口(65 歳以上)

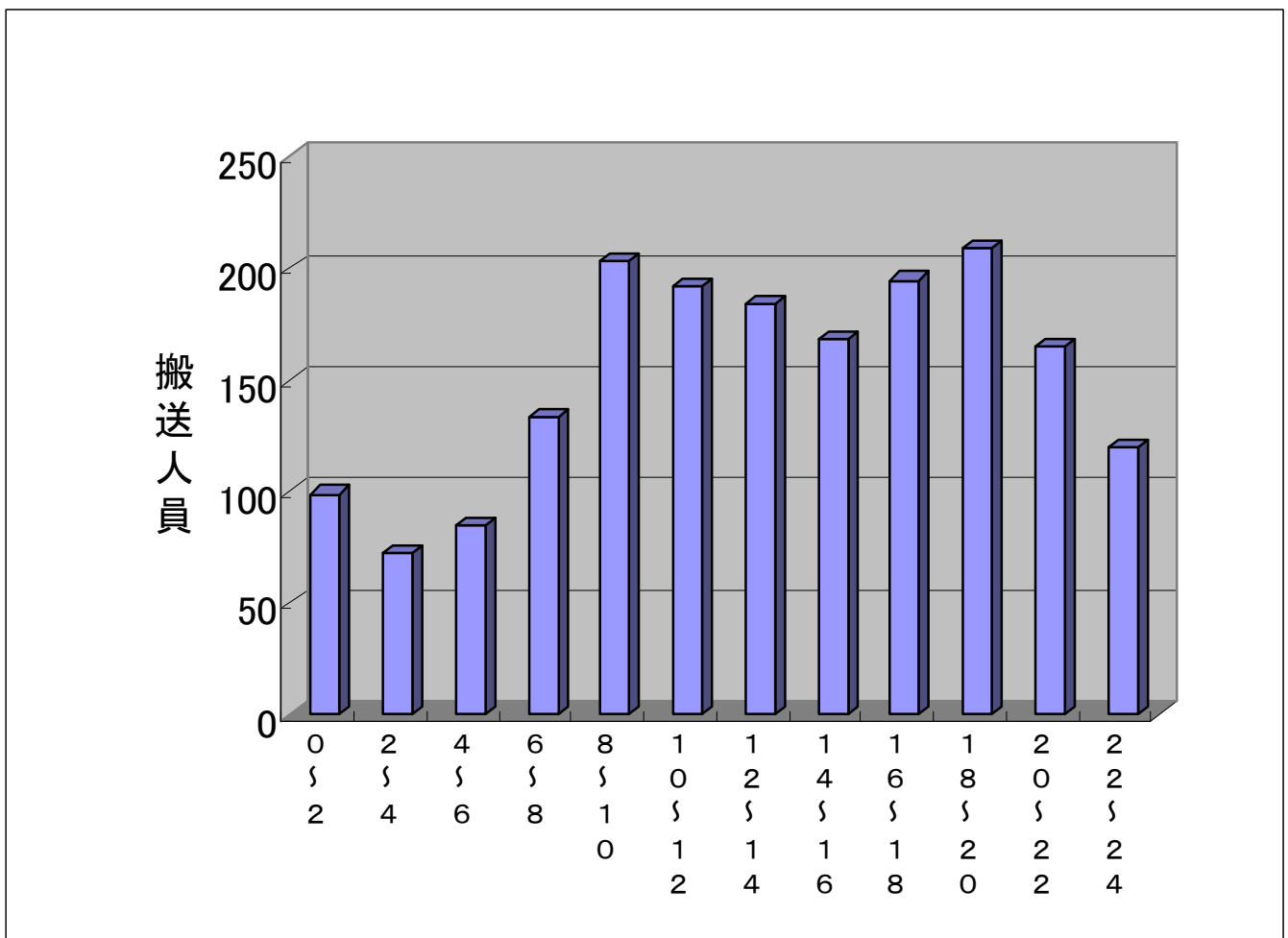
(7) 時間別救急出場件数

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	
											転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他		
合計	9	0	1	338	14	13	217	14	39	1129	167	0	0	8	1949	
時間別内訳	0~2	1		10			12	2	5	68	7			1	106	
	2~4	1		7			3		3	59	4				77	
	4~6			7			3	2	1	75	2				90	
	6~8			24			13	1	2	97	2				139	
	8~10			42	2		22		3	114	29				212	
	10~12	2		30	2	2	33		2	111	26			1	209	
	12~14	2		35	1	3	24		6	100	29			1	201	
	14~16	1		34		3	22	1	1	87	23			1	173	
	16~18			1	44	4	3	30	1	5	104	22			214	
	18~20				53	1		20	2	4	134	10			2	226
	20~22				35	4	1	21	2	3	100	8			1	175
	22~24	2			17		1	14	3	4	80	5			1	127



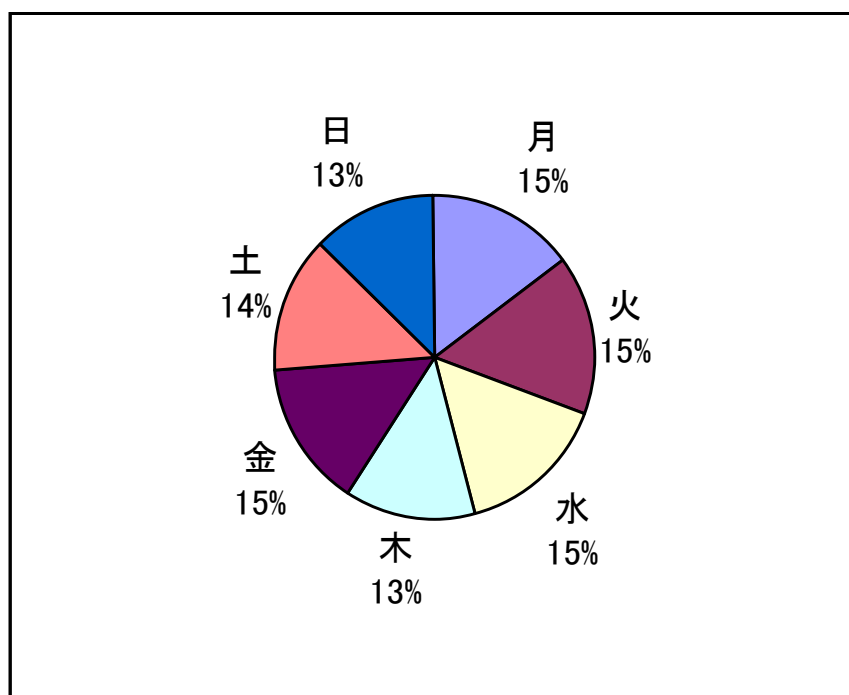
(8) 時間別搬送人員

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	
合計	3	0	1	350	13	13	202	14	24	1039	167	1826	
時間別内訳	0~2			10			12	2	4	64	7	99	
	2~4			6			3		3	56	4	72	
	4~6			7			3	2	1	70	2	85	
	6~8			25			12	1	2	91	2	133	
	8~10			43	1		22			108	29	203	
	10~12			32	2	2	30		1	99	26	192	
	12~14			35	1	3	21		2	93	29	184	
	14~16	1		39		3	20	1	1	81	23	169	
	16~18			1	44	3	3	28	1	3	90	22	195
	18~20				54	1		19	2	2	121	10	209
	20~22				37	4	1	21	2	2	90	8	165
22~24	2			18	1	1	11	3	3	76	5	120	



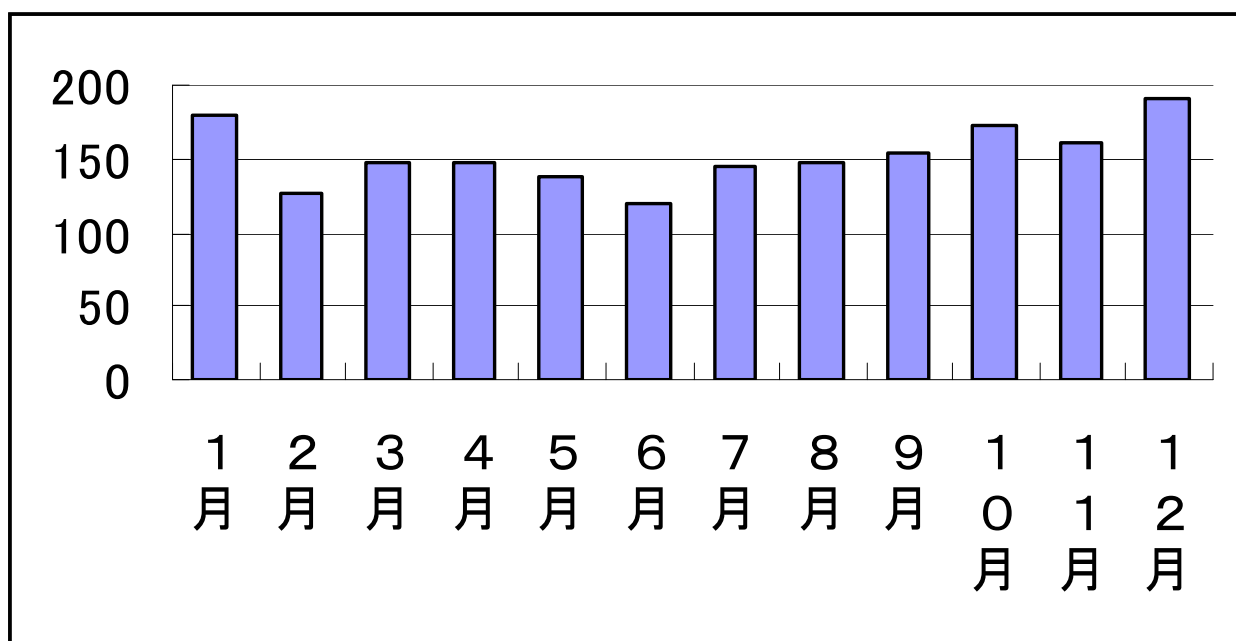
(9) 曜日別月別救急出場件数

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		合計	
											転院搬送	その他		
曜日別	月			42	2	1	37	1	3	181	28		295	
	火	1		54	1	1	19	2	8	190	29	3	308	
	水	2		52	2		34	2	6	170	22	2	292	
	木	2		43	4	1	25	2	4	146	26	2	255	
	金			64	2	2	33	2	3	150	27		283	
	土	2		43	3	1	35		5	151	25	1	266	
	日	2		1	40		7	34	5	10	141	10		250
	計	9	0	1	338	14	13	217	14	39	1129	167	8	1949
月別	1月	2		25			16	2	8	125	16		194	
	2月	1		12		1	15		3	89	15	1	137	
	3月	1		34	3		17		1	85	14	1	156	
	4月			1	28	2	1	22	1	5	88	12	1	161
	5月			32	2	2	24	1	6	63	15	1	146	
	6月	1		22	1	1	13			78	10		126	
	7月			30			17	4	3	96	8	1	159	
	8月			23	1		22	2	4	91	18		161	
	9月	2		30	4	2	11	1	4	99	9	1	163	
	10月			25	1	4	17			109	18		174	
	11月	1		35		2	18	3	2	98	11	1	171	
	12月	1		42			25		3	108	21	1	201	



(10) 曜日別月別搬送人員

区分		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日別	月				41	2	1	34	1	3	171	28	281
	火				49	1	1	17	2	3	173	29	275
	水	3			51	2		33	2	3	151	22	267
	木				42	3	1	25	2	3	135	26	237
	金				73	2	2	29	2	1	131	27	267
	土				50	3	1	34		4	145	25	262
	日			1	44		7	30	5	7	133	10	237
	計	3	0	1	350	13	13	202	14	24	1039	167	1826
月別	1月				27			14	2	4	116	16	179
	2月				11		1	14		3	82	15	126
	3月	2			35	3		16		1	77	14	148
	4月			1	29	2	1	20	1	2	80	12	148
	5月				36	2	2	23	1	5	53	15	137
	6月				21	1	1	12			74	10	119
	7月				32			15	4	1	85	8	145
	8月				21	1		21	2	1	83	18	147
	9月				31	3	2	9	1	4	94	9	153
	10月				27	1	4	17			105	18	172
	11月				37		2	18	3	1	90	11	162
	12月	1			43			23		2	100	21	190





## (11) 事故種別・年齢別・程度別搬送状況

区分		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死亡												0
	重症											4	4
	中等症							1			1	25	27
	軽症							1					1
	計	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	29	32
乳幼児	死亡												0
	重症										1	4	5
	中等症				1			3			20	4	28
	軽症				5			31			68	1	105
	計	0	0	0	6	0	0	34	0	0	89	9	138
少年	死亡												0
	重症				1		1			1		1	4
	中等症				5		2	1	1		7	2	18
	軽症			1	35		4	12			19		71
	計	0	0	1	41	0	7	13	1	1	26	3	93
成人	死亡				2					3	2		7
	重症				10	1		3		4	39	29	86
	中等症				57	7	1	20	2	8	212	36	343
	軽症	3			206	4	5	26	9	4	193	4	454
	計	3	0	0	275	12	6	49	11	19	446	69	890
老人	死亡							3			19		22
	重症				4			14		3	102	30	153
	中等症				5			44	1		254	25	329
	軽症				19	1		43	1	1	102	2	169
	計	0	0	0	28	1	0	104	2	4	477	57	673
合計	死亡	0	0	0	2	0	0	3	0	3	21	0	29
	重症	0	0	0	15	1	1	17	0	8	142	68	252
	中等症	0	0	0	68	7	3	69	4	8	494	92	745
	軽症	3	0	1	265	5	9	113	10	5	382	7	800
	計	3	0	1	350	13	13	202	14	24	1039	167	1826

※ 年齢区分は次による。

新生児／生後29日未満の者

乳幼児／生後29日以上7歳未満の者

少年／満7歳以上18歳未満の者

成人／満18歳以上65歳未満の者

老人／満65歳以上の者

(12) 発生場所別搬送人員状況

区分	住宅	公衆出入り場所	仕事場	道路	その他	合計
急病	831	165	16	23	4	1039
交通	0	9	0	336	5	350
一般負傷	135	39	3	22	3	202
その他	30	188	9	6	2	235
合計	996	401	28	387	14	1826

(13) 管内管外搬送人員状況

区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
管内に住所を有する者	2		1	194	4	8	179	11	23	888	62	1372
管外に住所を有する者	1			156	9	5	23	3	1	149	105	452
その他										2		2
合計	3	0	1	350	13	13	202	14	24	1039	167	1862

(14) 現場到着所要時間別出動件数状況

救急車などに出場を指令してから、現場に到着するまでに要した時間（レスポンスタイム）は、5分以上10分未満が、1,303件で、総出場件数の66.8%を占めます。

平均所要時間は、「急病」7分18秒、「交通」6分56秒、「一般負傷」7分3秒、「その他」7分59秒で、2年前の平成13年より時間がかかるようになりました。

原因としては、自動車の増加による道路の交通渋滞、そして、携帯電話など移動電話からの通報が増え、現場を把握するのに手間取るようになったためとみられます。

区分	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	計	最短所要時間(分)	最長所要時間(分)	平均所要時間(分)
急病	18	147	759	200	5	1129	0	27	7.18
交通	11	65	210	51	1	338	1	87	6.56
一般負傷	1	28	153	35	0	217	2	17	7.03
その他	7	27	181	44	6	265	0	36	7.59
計	37	267	1303	330	12	1949			

### (15) 応急手当普及啓発活動の状況

消防署では市民の救命効果の向上を図るため、住民に対する応急手当の普及啓発活動を推進しており、受講者数は年々増加しております。

平成15年中に消防機関が行った応急手当普及講習は、受講人数が768人を超え、市民の約85人に1人が受講したこととなります。

区分	普通救命講習		その他の講習	
	受講人員	実施回数	受講人員	実施回数
平成13年	374	14	581	22
平成14年	372	16	636	29
平成15年	423	18	345	13

一般市民でも訓練によって心肺機能停止状態の傷病者を救命することは、すでに1950年代の後半に欧米の先進諸国で実証されています。

家庭や職場で家族や友人が倒れたとき、「救命の連鎖」の最初の2つの輪である「早い通報」「早い応急手当」は、そばにいる「あなた」(バイスタンダー)につないでいただくしかありません。倒れた人の意識が無くて重篤な状態だと思ったら、すぐに救急車を呼んで応急手当を始めてください。

せっかく身につけた応急手当も、単に知識や教養として知っているだけでは意味をなさないのです。心肺機能停止状態の傷病者に遭遇したときに、実行してこそ意味あるものになります。日本人は奥ゆかしく恥ずかしがりやが多いので、応急手当を知っていても実行しない人が大勢います。確かに、とっさの事故では誰でもびっくりしますし、あわてもします。恥ずかしいこともよくわかります。しかし、あなたの応急手当が、大切な尊い人命を救うことができる事も忘れないでください。

また、応急手当は医学的な根拠に基づいて考えられたものですが、医学もまた、日進月歩です。さらに新しく効果的な応急手当の手法が見出される可能性が十分あります。したがって、定期的に再講習を受講するようにしましょう。